

1 成人期作業部会グループワークの概要

グループ A	テーマ「生活支援」	
部会員 (4人)	静岡県自閉症協会、静岡市暮らし・しごと相談センター、 基幹相談支援センター、こころの健康センター	
課題解決及び 連携に必要な もの	<p>【課題解決に必要なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメント能力、支援能力を向上 ・ 居場所 来所できない人に対する支援等 <p>【連携に必要なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機関を含めた他機関とのネットワークづくり 各機関の支援内容について共通理解を持ち、連携しやすい体制づくり ○ 居場所や、ピアカウンセリングを受けられる機関 生活に困難さを抱えている方に対して、継続支援ができる機関・人 	
資源と役割	自分たちでできるもの	協力をお願いしたいこと
	当事者団体を通じた支援 相談業務（個別支援）	医療と支援者間での連携 アセスメントの共有 継続的な支援を行う機関



短期的な方策 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれが参加している協議会や会議で事業を紹介し合う。 ・ 参加者同士交流を深めることにより、情報共有を図る。
中期～長期的 な方策 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアカウンセリングの場づくり ・ 来所できない方へのアプローチ方法の確立



目 標	
-----	--

グループ B	テーマ「就労」	
部会員 (5人)	静岡障害者職業センター、発達障害者支援センター 暮らし・しごと相談支援センター 障害者就業・生活支援センター、清水公共職業安定所	
課題解決及び 連携に必要な もの	<p>【課題解決に必要なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割の明確化 ・早期対応 ・ノウハウの蓄積による支援力の向上 好事例を就労モデルとして情報共有 ・ケース会議の開催（支援方法の共有） <p>【連携に必要なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難事例を受け止めることができるネットワークの構築 ・医療・民間企業との連携 	
資源と役割	自分たちにできること	協力をお願いしたいこと
	支援内容を明確にする 障がい特性への理解（を伝える） 二次的問題への配慮、支援	専門（関係分野）以外からの情報収集 チーム支援で柔軟な対応 関係機関をのつなぎ



短期的な方策 (案)	定期的に集まる機会を設ける 障がい者就職相談会の充実 企業へのアプローチ
中～長期的な 方策（案）	支援機関同士の連携 企業との連携 アセスメント力の向上 支援を継続させる仕組み



目標	市内就労支援機関のネットワーク化 職場定着
----	--------------------------

グループ C	テーマ「教育」	
部会員 (5人)	発達障害者支援センター、静岡県高校教育課、特別支援教育センター 地域リハビリテーション推進センター、子ども若者相談センター	
課題解決及び 連携に必要な もの	<p>【課題解決に必要なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途切れのない支援のために節目ごとに情報を共有 ・本人や家族に対する特性理解 <p>【連携に必要なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関のネットワーク作り センター的な機関がほしい 	
資源と役割	自分たちにできること	協力をお願いしたいこと
	途切れのない支援のためにサポートファイルを（利用者と一緒に作る	途切れのない支援のための連携
	ネットワーク化のための関係機関の明確化	ネットワークづくりのための情報提供



短期的な方策 (案)	<p>途切れのない支援のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学から高等学校への情報伝達についての通知送付 ・アセスメント内容の共有 ・面接、電話相談等の相談支援力の向上。 <p>ネットワーク化のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者支援マップ等支援を案内する資料を関係機関で共有
中～長期的な 方策（案）	<p>途切れのない支援のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校から高等学校への情報伝達システム化 ・個性にあったアセスメント力の向上



目標	
----	--

2 課題解決につながる取組み

○成人期発達障害事例検討会

日時：平成 29 年 12 月 14 日（木）午後 4 時～午後 5 時 30 分

場所：静岡医療福祉センター 4 階研修所

スーパーバイザー：浜松医科大学子どもこころの発達研究センター連合

小児発達学研究所 桑原斉先生

事例：静岡市発達障害者支援センターから 1 事例

静岡市相談支援推進センター（委託先：静岡市障害者協会）から 1 事例

○静岡県高校教育課と静岡市発達障害者支援センターとの連携

成人期作業部会をきっかけに、静岡県高校教育課と静岡市発達障害者支援センターが連携を開始。

平成 30 年度から巡回相談（支援体制サポート強化事業）を公立高校において実施できるよう準備を始めた。